

ハンドボール No.59

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高等
<input checked="" type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input checked="" type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input checked="" type="checkbox"/>	女子

試合 番号	武道館-女12
----------	---------

年月日	2022年7月30日(土)
大会名	第44回全日本学生ハンドボール選手権大会

公式記録用紙

A 県立水海道第二高等学校						県立不来方高等学校						B				
愛媛県		松山市			愛媛県武道館			1回戦								
前半	A 9	B 12	最終結果	A 22	B 25	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m追加 シフト	A	B		
7m得点/総数	A 1/1		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B 1/2		7m得点/総数					
	1	2	3	1837	1925	2836	1	2	3	2950	1249					
No.	水海道二					G	W	2'	D	DR	No.	不来方				
1	宮澤 仁日菜										1	大間 あかり				
2	秋葉 百華					4		1			2	里村 采音				
3	荒井 沙愛					6		2			3 c	前川 寧々				
4	金井 天音					6		1			4	中屋 爾子				
5 c	菊田 満乃梨					3		1			5	阿部 夢咲花				
6	馬場 明里					2					6	石橋 静佳				
7	長谷川 紀依										7	高橋 遥菜				
8	鈴木 千尋										8	窪小谷 心結				
9	平山 花奈										10	細川 杏莉				
10	畠山 咲希										11	阿部 はる菜				
11	細津 真由										12	藤原 ひかり				
12	山本 あい										13	久慈 椿				
13	浅野 心友										14	安ヶ平 優衣				
14	本田 紗耶					1					15	藤原 遼子				
監督A	飯田 健										監督A	大沢 勝				
役員B	木村 真史										役員B	安倍 千夏				
役員C	島方 桃奈										役員C	福土 宏紀				
A	木村真史					チーム役員A署名					大沢 勝					B
特記事項																

レフェリー	高橋 容平	磯部 尚志	高橋 容平	磯部 尚志
TD	小橋 太	今井 茂宏	小橋 太	今井 茂宏
MO				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

令和4年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会
高松宮記念杯第73回全日本高等学校ハンドボール選手権大会
試合結果・戦評報告書

競技日	2022年7月30日(土)		会場	愛媛県武道館	
種別	女子		回戦	1回戦	
チーム名			チーム名		
県立水海道第二高等学校(茨城)			県立不来方高等学校(岩手)		
得点合計	小計		小計	得点合計	
22	9	前半	12	25	
	13	後半	13		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦 評

水海道第二高校のスローオフで試合が始まった。両チーム共にコートを広く使った一進一退の攻防で、序盤は得点を重ね合った。不来方高校④安ヶ平の力強いシュートに対し、水海道第二はCB④本田の切れのあるフェイントからの展開で応戦する中、6対6で前半の中盤を折り返す。その後、不来方PV⑥石橋、⑤阿部のカットからの速攻等で4連続得点してリードを広げた。その後も⑥石橋の得点、③前川の速攻で得点を重ねた。水海道第二は⑥馬場が奮闘し、応戦する。しかし、水海道第二に2者連続で退場者が出て、数的不利から9対12で前半を終える。

後半立ち上がりは不来方②里村のミドルシュートで始まる。水海道第二も④本田の絶妙なポストへのパスで食らいつく。不来方は退場者が出るもGKとFPを入れ替えて攻撃し、反撃に耐えた。さらに④阿部や⑥石橋の1対1からの攻撃で試合を組み立てる。水海道第二も④金井のサイドシュートや②秋葉の速攻等で同点とする。不来方はすぐに③前川のサイドシュートで反撃する。水海道第二も②秋葉の速攻で追いつく。ここで、水海道第二は退場者が出る中で2点を追加される。水海道第二がタイムアウトを取り流れを止めようとするも、一進一退の攻防が続く中、チャンスを手にしたのは不来方で22対25で勝利した。

記載者氏名	長野 真太郎
-------	--------